

## 菊池三溪自筆稿本目録（二）

福井辰彦

はじめに

本稿は、本誌前号（第二十四号）に掲載された「京都大学付属図書館蔵菊池三溪自筆稿本目録（一）」の続稿であるが、当初の方針を若干変更したので、はじめにお断りしておく。

まず、掲載方法について、当初は、全二回で完結の予定であったが、諸般の事情により、全三回での掲載となった。第三回は次号（第二十六号）に掲載予定である。

次に、収録範囲についても変更がある。前回、菊池三溪および彼の自筆稿本・旧蔵書について解説した「序」では、

自筆稿本は全六十二点。そのうち六十点は一般貴重書となつてゐる。残り二点は普通書として配架されていたが、現在は準貴重書扱いとなつており、間もなく貴重書の指定を受けるとのことである。

と述べ、「凡例」二では、「現在準貴重書扱いとなつてゐる二点は末尾に配」とするという方針を示した。この「二点」とは、『学聚堂叢書』（4・02／カ／7）と『近世古文所見集』（4・02／

キ／5）であり、このほど予定通り、貴重書の指定を受けた。しかし、これらは、他人の詩文を抄出したものであり、三溪自身が創作した詩文を含まないので、「稿本」に含めることは不適切であると思われる。そこで、本目録には収録しないこととした。

一方、京都大学付属図書館には、これら二点を含め、「稿本」以外の三溪自筆資料が、計四点所蔵されている。これらについては、次回末尾に附録として、簡単な紹介を掲載することとした。

このように筆者自身、手探りの状態で作成している本目録であるから、誤りや不備も多々あらうと思われる。読者諸賢の御批正をお願い申し上げる。

凡例

- 一 本稿は、京都大学付属図書館が所蔵する菊池三溪自筆稿本の目録である。
- 二 配列は、京都大学付属図書館が付した請求記号の順とした
- 三 各稿本には通し番号を付した。
- 四 各稿本ごとに、まず書名を記し、次いで請求記号を示した。
- 五 次に、①分量、②書型、③丁数、④外題、⑤内題等、⑥序跋、⑦備考、⑧目次の八項目について記述した。
- 六 いったん薄紙表紙を付けてまとめられた詩文稿を、改装または合綴した稿本の場合、③丁数には薄紙表紙も算入した。
- 七 ⑧目次の記述は、以下の方針による。
  - 1 複数冊から成る稿本の場合、各冊の冒頭を『第一冊』のように示した。また、各冊の外題が異なる場合は、( ) に括弧で外題を示した。
  - 2 一冊の稿本が、複数の巻から成る場合、各巻の内題を、それらが記されている位置に、●印を付して挿入した。
  - 3 一冊の稿本が、相異なる複数の内題を持つ部分から成る場合、それぞれの内題を、それらが記されている位置に、●印を付して挿入した。
  - 4 種々の詩文稿を合綴した稿本の中には、いったん薄紙表紙を付けてまとめられた詩文稿を含んでいるものがある。この場合、その冒頭の箇所、薄紙表紙に記された題を、 で囲って挿入した。また、その末尾の箇所を、『印で示した。
  - 5 種々の詩文稿を合綴した稿本の中には、体裁・内容などから、元々ひとまとまりであったと推定し得る部分を含んでいるものがある。この場合、その冒頭の箇所に、\*印の注記を施し、末尾の箇所を、『印で示した。
  - 6 各稿本に収められた三溪の作品には通し番号を付した。
  - 7 三溪自身による序、題言、凡例などには番号を付けず、\*印を付した。
  - 8 三溪以外の人物による序、跋、詩文には番号を付けず、印を付し、( ) に括弧で作者名を示した。
  - 9 題のない作品には、仮の題を付け、「」に括弧で示した。内容などについては、その注記は( ) に括弧で記した。
  - 10 詩については、その詩体を( ) に括弧で示した。
  - 11 連作詩について、詩の数が詩題に明示されていない場合や、その一部を節録している場合は、当該稿本に収録されている詩の数を( ) 内に示した。
- 八 漢字の字体は、原則として、現在通行の字体に統一した。
- 九 割書き、小書きの文字はへんに括弧で示した。

【二十一】晴雪樓遺稿（4・05／セ／1貴）

①分量 二冊

②書型 乾冊縦二三・四cm×横一五・五cm、坤冊縦二三・〇cm

×横一五・四cm、ボール紙表紙、四つ目綴じ

③丁数 乾冊一七七丁、坤冊一四八丁

④外題 「晴雪樓遺稿 乾「坤」」（表紙左肩、打付書、子持枠  
を書いた中に隸書で記す）

⑤内題等 なし

⑥序跋 なし

⑦備考 明治十五〜二十二年の種々の文稿を集めたもの。

⑧目次

〔乾冊〕

1 涵虚堂遺稿序

2 冷雲石田君墓碑銘

3 涵虚堂遺稿序

4 書半日間話後

5 書半日間話後

6 本朝百婦伝序

7 月瀬游記四

8 記五

9 記六

10 「断片」（前半一丁破損）

11 停衛兵稍食

12 公使館襲撃

13 仁川府奇禍

14 問罪使節

15 条約結局

16 燕脂虎伝（一名毒婦高橋男伝実録）

17 書広瀬保水翁書牘後

18 冷雲石田君墓碣銘

19 新塞（読史戦論）

20 敵島河越（読史戦論）

21 小田原

22 碧蹄館上

23 碧蹄館下

24 書船山遺稿後

25 書鉄然上人薩海舟中詩後

26 三溪文集自序

27 刑法講義序

28 埋玉発光跋

29 話園序（未完）

30 話園序（未完）

31 毛詩補伝序

32 毛詩補伝序

33 訳準綺語

34 龍頭古文真宝序

35 天籟文集序

36 標註十八史略序

37 標註十八史略序

38 留春帖題詞

39 留春帖序

- 40 留春帖題詞  
 41 鼈頭古文真宝叙  
 42 号棟古文真宝叙  
 43 竹内嶺新道碑  
 44 谷梅翁老人、見惠其手刻竹印一顆。賦此鳴謝（七絶二首）  
 46 富山仙洞 八犬伝（中絶）  
 47 話園序  
 48 埋玉発光跋  
 49 土窟屠龍（擬樂府）（七古）  
 50 一夜百詠序  
 51 百家一絶序  
 52 明治文集序  
 53 宜春楼記  
 54 一夜百詠序  
 55 詠風（七絶）  
 56 国史略初篇跋  
 57 宜春楼記  
 58 毛詩補伝序（中絶）  
 59 白峰陵 弓張月  
 60 〔無題〕（七絶）  
 61 雨夜赤繩 春色梅曆  
 62 富山仙洞 八犬伝  
 63 芳流閣格闘  
 64 談海序  
 65 丸山火災
- 66 觀防火丁演梯技記  
 67 訳漢文則序  
 68 送大岡子行序  
 69 故法勝寺執行俊寛僧都記念墓碣碑銘  
 70 増補日本外史訳語序  
 71 論川中島戰（中絶、坤冊143に続く）  
 72 〔旭川詩鈔序〕（前半欠）  
 73 修身必読仮名世説序  
 74 題風雨待渡図後  
 75 題風雨待渡図  
 76 観楓日記跋  
 77 書尚友卷後  
 78 番氏明牽裾図（七絶）  
 79 楠公訣児松（七絶）  
 80 〔無題〕（七律）  
 81 採草説  
 82 国史論抄序  
 83 松浜新港碑銘  
 84 大日本史言行略序  
 85 大日本史言行略序  
 86 屏風戦図  
 87 〔詠岐阜提灯。次韻依田百川〕（七絶二首、未定稿）  
 89 十月八日、緒方氏招飲。用秋谷老人餞別詩韻、送其西帰（七絶、未定稿）  
 90 十月八、緒方適齋招飲。次主人詩韻、送秋谷老人西帰（七絶、未定稿）

91～92 詠岐阜提灯。次韻依田百川（七絶二首、未定稿）

93 近世名医伝序

94 近世名医伝序

95 姚姬伝（七絶）

96 查初白（七絶）

97 張問陶（七絶）

98～104 「無題詩稿」（七絶七首）

105～106 王漁洋（七絶二首）

107 日本藩史序（中斷）

108 寒尽（七絶）

109 「無題」（七絶）

110 青莪一筐叙

111 志伝文叢序

112 増註国語定本序

113 日本仏蘭西違警罪類聚叙

114 茶道早学序

115 志伝文叢序

116 慷慨義烈余詩序

117 越柏新誌叙

118 大日本史言行略序

119 丹波国鐘坂隧道竣工、募文詩于四方、鳴其盛事、則賦歌行

一篇、贈其首唱某氏（七古）

120 国史論抄序

121 書尚友卷後

122 冷雲詩抄序

123 文章軌範釈義序

**坤冊**

124 皆山楼記

125 日柳燕石追悼詩文集序

126 日本藩史序

127 近世名医伝序

128 近世名医伝序

129 松浜新港碑銘

130 春日祠積雪

131 御鹿山春曙

132 騰雲溪清風

133 春草廬夜雨

134 分翠路流螢

135 梅外小稿序

136 標註弘道館記述義序

137 扶桑楼記

138 八大家摘注序

139 標註十八史略序

140 標註国語定本序

141 評林文章軌範序

142 話園序

143 「論川中島戰」（乾冊 71 の後半）

144 美人香草堂記

145 宜春楼記

146 中房温泉記

147 毛詩補伝序

148 梅外摘稿序

- 149 天籟文集序  
 150 留春帖題詞  
 151 庚申山怪異 八犬伝  
 152 庚申山 二  
 153 漢訳文則序  
 154 文海一滴序  
 155 元明史略註解序  
 156 松浜新港碑銘  
 157 近世名医伝序  
 158 宇都宮龍山先生寿蔵碑銘  
 159 邁寛矢野君墓碑銘  
 160 邁寛矢野君墓誌銘  
 161 海莊先生墓碣銘  
 162 海莊先生墓碣銘  
 163 海莊菊池先生墓誌銘  
 164 岡田平蔵墓銘  
 165 澗河洪水紀念碑銘  
 166 澗河洪水紀念碑銘  
 167 澗河洪水紀念碑銘  
 168 澗河洪水紀念碑銘  
 169 竹内嶺新道碑銘  
 170 竹内嶺新道碑  
 171 竹内嶺新道碑  
 172 冬斎藤川先生紀念碑銘  
 173 扶桑館記  
 174 「無題」(森槐南「古詩平仄論」の序か)
- 175 詩文叢集序  
 176 詩文叢集序  
 177 濟澤紀事  
 178 曲馬師小金  
 179 一眼寺  
 180 稗史小伝  
 181 記南紀名勝三則  
 182 阿部豊後守忠秋逸事  
 183 与家溪琴先輩報震災書  
 184 日蓮上人画像記  
 185 春日莊十勝小記  
 186 浮黛楼記  
 187 浮黛楼記  
 188 楽古堂文集序  
 189 秋元神社宝鏡銘并引(代秋元氏)  
 190 宇都宮龍山先生寿冢碑銘  
 191 宇都宮龍山先生寿蔵碑銘  
 192 文章軌範明弁序  
 193 詠岐阜提灯二首。歩学海依田君詩韻(七絶)
- 194 詠岐阜提灯二首。歩学海依田君詩韻(七絶)  
 195 女学校課程略解叙  
 196 囲棋錦囊序  
 197 竹深留客処集跋  
 198 千家絶句序

【二十二】晴雪楼雜稿（4・05／セ／2貴）

- ①分量 一冊
- ②書型 縦二三・二cm×横一五・三cm、ボール紙表紙、四つ目綴じ
- ③丁数 一二三丁
- ④外題 「晴雪楼雜稿 全」（表紙左肩、打付書、子持枠を書いた中に隸書で記す）
- ⑤内題等 なし
- ⑥序跋 なし
- ⑦備考 明治十九〜二十一年の種々の文稿を集めたもの。
- ⑧目次
  - 1 小山田庄左衛門伝 以呂波文庫（冒頭に「鏡中花影卷之一」／三溪居士訳述／訳準情史」とあり）
  - 2 冬青館記
  - 3 堺港浚鑿紀功碑
  - 4 神契爾我卷序
  - 5 斑爛舞影跋
  - 6 小楠公戎装図贊
  - 7 楠公訣別図贊
  - 8 耶馬溪図卷序
  - 9 起業製法全書序
  - 10 甲斐志叢跋
  - 11 攻五新誌叙
  - 12 峡中詩叢叙
  - 13 竹窓遺稿跋
  - 14 薤露一滴跋
  - 15 友月齋記
  - 16 十哲像贊（為福島氏囑）
  - 17 欧洲美談序
  - 18 書累卵図後
  - 19 世界一大奇聞序
  - 20 蜻尾堂記
  - 21 岡村閑堂六十初度寿序
  - 22 先哲文粹序
  - 23 竹外詩稿序
  - 24 大日本明治大薰香効能緒言
  - 25 水中花影序
  - ・序（石津灌園、『訳準綺語』序。三溪の評あり）
  - 26 琴廬谷口君墓碑銘
  - 27 香説
  - 28 香説
  - 29 与石津子儉書
  - 30 船山草場先生墓誌銘
  - 31 豊史紀事序
  - 32 龍杖贊（西琴石需、崎陽客中作）
  - 33 書水餐煙語後（崎陽客中作）
  - 34 距影紀事跋
  - 35 山田長正事蹟考序
  - 36 佐藤貞子伝
  - 37 佐藤孺人墓碣銘
  - 38 別子銅山画帖跋

- 39 小学日本史叙
- 40 三溪雜誌引
- 41 簷声日録跋
- 42 戦国屏風 武蔵鏡
- 43 木屐入浴 膝栗毛
- 44 木屐入浴 膝栗毛
- 45 若紫 源氏物語
- 46 空蟬 源氏物語
- 47 空蟬 源氏物語
- 48 若紫 源氏物語
- 49 幡随院長兵衛伝
- 50 因伯新道紀功碑
- 51 船山草場先生墓誌銘
- 52 歛隆蘆田君墓誌銘
- 53 楓園和田君墓誌銘
- 54 大野郡二孝女碑
- 55 明治池碑
- 56 纂評唐宋八大家文読本序
- 57 耶馬溪図巻序
- 58 起業製法全書序
- 59 聯璧詩鈔序
- 60 美濃紙説。寿神山鳳陽翁
- 61 美濃紙説。寿神山鳳陽翁
- 62 世界一大奇聞序
- 63 大野郡二孝女墓表
- ・重書尾上多見蔵伝後（木崎愛吉）

【二十三】晴雪楼小稿（4・05／セ／3貴）

- ①分量 一卷一冊
- ②書型 縦二三・九cm×横一六・九cm、縹色表紙、四つ目綴じ
- ③丁数 二九丁
- ④外題 「晴雪楼小稿 全」（表紙左肩、子持梓書き題簽）
- ⑤内題等 内題「晴雪楼小稿（戊辰）」、内題次行には三溪の署名の他に「恕軒信夫榮評点 晴山秋葉錦校字」とあり。
- ⑥序跋 なし
- ⑦備考 明治元年の文集。
- ⑧目次
  - 1 上參謀某公書（代人）
  - 2 与信夫文則書
  - 3 与秋葉士栄書
  - 4 送信夫文則之江門序
  - 5 恕軒医話序
  - 6 恕軒文稿序
  - 7 竹楼詩存序
  - 8 登筑波山記
  - 9 自山下抵山上記二
  - 10 雄峰記三
  - 11 雌峰記四
  - 12 焚書坑儒説
  - 13 信夫寛一郎墓碣銘



【二十四】晴雪楼文略（4・05／セ／4貴）

- ①分量 一巻一冊
- ②書型 縦二三・四cm×横一六・五cm、縹色表紙、四つ目綴じ
- ③丁数 五六丁
- ④外題 「晴雪楼文略 機」（表紙左肩、赤色子持梓書き題簽）
- ⑤内題等 見返し題「晴雪楼文略」、内題「晴雪楼文略巻一」
- ⑥序跋 「自序」（明治二年四月六日）
- ⑦備考 文集。制作年次がもつとも古いものは元治元年、新しいものは明治初年の作と思しい。見返しは赤色、左右双辺の界線で三分した中に右から「三溪菊池純著」「晴雪楼文略」「鉄屏書屋蔵」と記す。
- ⑧目次
  - ※「自序」
    - 1 上閣老兼陸軍総裁松前侯書
    - 2 上知県事書（代人）
    - 3 与笠城執政牧野君序
    - 4 送監察新見相州序
    - 5 左氏戦図考序
    - 6 嚶鳴集序
    - 7 輦轂集序
    - 8 歳寒堂文鈔序
    - 9 又一塵集序
    - 10 半斎摘稿序
    - 11 続兵要録序
    - 12 増訂古文真宝序

- 13 鹿鳴舎吟稿序
- 14 記事提要序
- 15 作文在邇序
- 16 积養堂詩集序
- 17 緘月亭記
- 18 礼儀師古沢翁弟子姓名碑陰記
- 19 重修十三山書楼記
- 20 得所軒記
- 21 静軒記
- 22 禁苑観舞楽記
- 23 26 游高尾山記一〜四
- 27 瀧澗記
- 28 霞浦泛舟記
- 29 臥龍梅記
- 30 下澗江記
- 31 若王子後園記

【二十五】鉄屏書屋雜稿（4・05／テ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二四・一cm×横一六・〇cm、ボール紙表紙、四つ目綴じ

③丁数 九〇丁、この他書状二葉を綴じ込む

④外題 「鉄屏書屋雜稿 全」（表紙左肩、打付書、子持枠を書いた中に隷書で記す）

⑤内題等 なし

⑥序跋 なし

⑦備考 種々の詩文稿を合綴したもの。製作年次の最も古いものは明治三年、新しいものは明治十九年。『京華新誌』

原稿を含む。

⑧目次

1 序（「浪越竹枝詞」序）

2 序（「浪越竹枝詞」序）

3 割雞刀

4 赤繩奇談（「京華新誌」原稿（連載三号分）か）

5 三等技師大野君寿藏碑銘

6 大藏三等技師正六位勲六等大野君紀念碑

7 三等技師大野君紀念碑

8 〽<sup>13</sup>正六位勲六等大藏三等技師大野君紀念碑

贈北京僧某書二篇

・「石川舜台書状」（14に対する批正を記す）

14 与本然上人書（石川舜台の清人宛書状の代作）

・「石川舜台書状」（15に対する批正を記す）

15 与北京僧某尊者書（石川舜台の清人宛書状の代作）

与清国北京某上人書草案二篇

16 与清国北京本然上人書

17 与清国北京僧某尊者書

与清国北京僧某書二篇

18 与清国北京本然上人書

19 与北京僧雍和宮洞闊爾呼図克图書

祥刑記

20 赤繩奇談（第一〜三局、冒頭には「祥刑記／江門 菊池純

子頭／大岡氏別記／赤繩奇談第一局」とあり）

21 曾呂里新左衛門伝（中断）

22 赤繩奇談（第四〜五回、冒頭には「祥刑記／江門 三溪居

士著／大岡氏別記／赤繩奇談第四回」とあり）

23 直助権兵衛

24 「無題」（大岡政談）

25 弁生母後母

26 小櫃与五衛門直言

27 大河内節儉

【二十六】四照園詩触（4・06／シ／3貴）

①分量 二卷二冊

②書型 縦一九・〇cm×横一二・一cm、第一冊肌色布目表紙、

第二冊肌色表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 第一冊二二丁、第二冊一八丁

④外題 第一冊「四照園詩触（菊池三溪稿本）」（表紙左肩、

子持梓書き題簽）、「四照園詩触」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）、第二冊「菊池純稿／四照園詩触」（二）（表紙左肩、打付書）、「四照園詩触」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 第一冊内題「四照園詩触卷一」、第二冊内題「四照園詩触卷二」

⑥序跋 なし

⑦備考 詩話。第一冊三十九則、第二冊三十四則。安政三年、

末尾に朱で書き入れられた三溪識語には「此篇余二十三歳之晩夏所撰」とあり。これによれば天保十四年成立。第一冊虫損あり。

⑧目次

第一冊

●四照園詩触卷一

1「渙然而氷積、依然而理隨、作詩之妙訣」

2「詩不苦吟則不巧」

3「壬寅伊勢二遊ビシ折ノ詩」

4「禽言之詩」

5「壁耳・口」ノ典故」

6「換骨奪胎」ノ古人暗合」ノ例」

7「騎月雨、囚雨、私雨」

8「用古人成語以為対仗」

9「僻典」

10「詠実盛詩」

11「平仄両用字」

12「某狭斜、雛妓「孤平」ヲ「小標」ト聞ク」

13「加賀大岡円平（号空翠）題明智左馬介渡湖図詩」

14「山元欽八歳時ノ詩」

15「白月、黒月」

16「蟬蛻詩」

17「好対 文齋・詩仏」

18「論人之詩、須以優柔漸漬之心論之也」

19「早逝セル青衿某ノ詩」

20「磨碑之妖 半齋詩」

21「杜甫不作海棠詩」

22「詩筆」

23「清女紫媛」

24「都下坊間技人ノ珍芸 文齋詩」

25「改人之詩」

26「野村篁園集句詩 採花集」

27「玉川金谷翁題大江山図詩」

28「金橘桜花」

29「疎影横斜」句ニツキテノ楊升庵ノ説」

30「新自腐出、潔自汚生。明七子詩一変シテ宋詩ト為ルモ故

有リ]

31 [築碁]

32 [韻脚未妥、字面生硬、敲推或不及者、換韻精思、別構手段]

33 [人之短易知、己之短難察]

34 [尋常言語文章、一上才人騷士之舌頭、咳唾皆玉]

35 [宋張南湖集、友人某所藏、三溪ヲシテ其最者ヲ採扱セシム。他日考訂將上梓]

36 [一老儒、李白詩タルフ氣付カズ添削ス]

37 [紙鳶]

38 [魚勞則尾赤、人勞則髮白、草木亦勞則赤]

39 [賴杏坪「題源鎮西所用羊頭古鏃摸本詩」]

## 第二冊

●四照園詩觸卷一

40 [盛唐詩、中晚唐詩、宋詩ノ比較]

41 [佳句ニ好対ヲ要スルコト]

42 [古木ヲ伐ルヲ止ムル詩。隨園詩話、明・東谷贅言、元詩選ニ作者ヲ異ニシテ載ス]

43 [上清江(字馬德、故人)「題蘇武図」詩中一聯]

44 [元陳孚「博浪沙」詩]

45 [樺石梁「与某生書」]

46 [柳灣「題公子折花図」詩。文齋老人ノ添削]

47 [日香、土香]

48 [布揖(字子文、故人)「春尽」詩]

49 [秋霖称梅雨]

50 [画虎類猫 張文潛「虎図」詩]

51 [猴坊詞]

52 [曹操疑塚]

53 [文齋老人熟文選]

54 [老人和因是翁詩]

55 [杉葉長(名載之、字伯斐)]

56 [伯斐言、我胸中不古不今、但有天保年間之風然。山陽言、綠堂胸無唐無宋、唯有文政丁亥七月十四日、余眼無洛陽、無長安、唯有三樹村]

57 [四五年前、赴五山嶮社、塾課遇以秋社命題]

58 [石川艇齋]

59 [艇齋「十春詞」]

60 [松魚]

61 [狼入詩料]

62 [同事重出、陰陽ノ分アラバ却テ妙]

63 [作詩須要平淡]

64 [杜牧「江南春」、千里「ヨ」十里「ト改ムベシトスル楊升庵ノ説ヲ駁ス]

65 [田礪齋(故人)]

66 [七言詩、承句ヲ重ンズベキコト]

67 [九月十三夜]

68 [蒲牢、鯨魚 文齋詩]

69 [赤壁賦中、洞簫ヲ吹ク客、楊世昌ナリトスル説]

70 [詩成ラザレバ巨觥三酌ヲ強ヒラルルモ佳句ヲ得テ免ル]

71 [玉厓道人「西馭竹枝詞」]

72 [上田陸舟詠物詩]

73 [陸舟詠史詩]

【二十七】学聚堂存稿（4・07／カ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二二・六cm×横一五・五cm、縹色布目表紙、四つ目綴じ

③丁数 三三二丁

④外題 「学聚堂存稿（陽曆集／鴨沂涼棚詩／京甸風土詩）」（表紙左肩、単梓書き題簽）

⑤内題等 内題（一）「陽曆集」、内題（二）「鴨沂涼棚集」、内題（三）「京甸風土詩」

⑥序跋 「陽曆集」「鴨沂涼棚詩」には自序あり

⑦備考 表紙右下隅に「癸酉」と朱書。明治六年、京都で詠んだ詩を収める。

⑧目次

・目録

●陽曆集

※「自序」

1 観新曆（七律）

2 内国旗章歌（七古）

3 春寒小酌（七絶）

4 種菊（七絶）

5 題黄石寄贈岡本君（七古）

6 淀城小寓所見（七絶）

7 ～ 26 京華雜詠（七絶二十首）

27 ～ 28 袖雲石（七律二首）

29 ～ 37 名花十二客（折九）（五絶九首）

38 聞人話西湖（七絶）

39 ～ 40 遊桃山（同人社宿題）（七律二首）

41 海上所見（五絶）

42 題洛書硯（七古）

43 ～ 44 春江游鯉図（七絶二首）

45 盆梅（五絶）

46 ～ 47 昭君紙鸞（七律二首）

48 挿秧歌（七古）

49 ～ 50 六月初五、同黄石、双橋二詞宗、遊于若王子林亭、分

緑陰芳草句、得花字（七律二首）

51 ～ 55 菟道懷古五首（七絶）

56 菟道途上（七絶）

57 夏初偶作（七律）

58 旅夜聞水鷄（七絶）

59 書扇贈歌者（七絶）

60 ～ 61 泛舟過友人水莊（七絶二首）

62 ～ 63 丹州道中二首（七絶）

64 避暑僧寮（七絶）

65 読茶経（同人社課題）（七古）

66 ～ 67 折桜花贈外国人（七絶二首）

68 皆春亭初観梅花（七絶）

69 ～ 70 蠟梅（七絶二首）

71 田素心生、近日将之南紀。付以一詩、贈菊池海莊、兼似冷

雲袖岡（七律）

72 早起看牽牛花（七絶）

73 ～ 87 昆虫二十詠（折十五首）（五絶）

88 89 蓮塘（七絶二首）

90 螢灯（七律）

91 96 印須社諸友贈詩（原十四首）（七絶六首）

97 100 今茲明治六年七月一日、西京中鬢落成開講。純特命恭

講鷓皇記、退記其盛事（七絶四首）

101 102 送岡本黄石翁北遊（七律二首）

● 鴨沂涼棚集

※〔自序〕

103 三条橋納涼。同羽峰、鳳陽、天江、双橋、精堂諸友（七絶）

104 八月一日、同羽峰、支峰、鳳陽、天江、水香諸人、飲于鴨

沂涼棚。此日校印須舍詩文稿（七律）

105 蟬丸彈琵琶圖（印須舍課題）（七古）

106 107 菊池武時射蛇神圖（素心生囑）（七絶二首）

108 題画（七絶）

109 万里公諫龍馬圖（七絶）

110 116 成島柳北過訪、卒相携飲鴨厓月波樓（七絶七首）

117 秋立（七絶）

118 菅公愛梅圖（七絶）

119 秋興（七律）

120 北野菅廟作（七絶）

121 二會復讐圖（七絶）

122 大磯阿虎吊曾我二孤圖（七絶）

123 125 過廢園有感（七絶三首）

126 過逢坂至大津駅途上（七絶）

127 高平太着高履圖（七絶）

128 秋海棠（七絶）

129 131 俊寬島中惜別圖（七絶三首）

132 133 擁爐讀史（七絶二首）

134 九月十八日、林双橋、会同社諸友于高台寺、觀胡枝花。分

韻、得青字（七絶）

135 過池大雅旧跡（七絶）

136 高台寺所見（七絶）

137 東山四時詞。贈舞妓小玉（七古）

138 訪島柳北鴨涯寓居（七絶）

139 高雄、題和氣公廟壁（同人社課題）（七古）

140 東山温泉（七絶）

141 145 雪日觀練兵（七絶五首）

146 148 題石（五絶三首）

149 靈芝圖（五絶）

150 得意（七絶）

151 154 修学寺（七絶四首）

155 156 新田左中将沈宝剑圖（七絶二首）

157 送成島柳北東轅（七絶）

158 159 宇治黄檗山（七律二首）

160 叩冰煎茗（七絶）

161 掃塵行（七古）

162 除夜偶作（七絶）

163 寒鐘傲蔣藏園体（七律）

164 臘月十八日、同林双橋、訪岡本黄石翁。坐有女史翠蓮（七

律）

165 除夕賽祇園祠（七絶）

● 京甸風土詩

- 166 宿下鴨村水亭（愛宕郡）（七絶）  
 167 翠竹亭即事（五律）  
 168 ～ 171 詩仙堂（七絶四首）  
 172 黄門藤房公髻塚（在于岩倉村実相院）（七絶）  
 173 ～ 174 岩倉村途上（七絶二首）  
 175 ～ 177 小出石山中（五律三首）  
 178 原地村道中（七絶）  
 179 ～ 181 二瀬村謁羅山先生真影（七絶三首）  
 182 僧房（七律）  
 183 近郊所見（七律）  
 184 ～ 186 御室途上。寒雨俄至（以下葛野郡）（七絶三首）  
 187 酒醒（七絶）  
 188 梅宮途上（七絶）  
 189 嵐峽宿杜鵑亭（七律）  
 190 ～ 191 再過嵐峽。此日寒雨屢至、殊覺山水加秀麗（七絶二首）  
 192 ～ 194 宿月亭（七絶三首）  
 195 曉發嵐山（七絶）  
 196 梅尾（七律）  
 197 謁和氣清麻呂公廟。廟在高尾山絶頂（七絶）

【二十八】荷香松影樓小稿（4・07／カ／2貴）

- ①分量 一冊  
 ②書型 縦二二・六cm×横一五・四cm、黒色布目表紙、四つ目綴じ  
 ③丁数 一六丁  
 ④外題 「荷香松影樓小稿（菊池三溪手稿／諸名家批評）完」（表紙左肩、子持梓書き題簽）  
 ⑤内題等 内題「荷香松影樓小稿（丁丑）」  
 ⑥序跋 自序  
 ⑦備考 明治十年三月、三条河原町の如雨之亭から「忍巷逢坊」の荷香松影樓に転居以降、同年中の詩を収める。

⑧目次

※「自序」

- 1 梅辺歩月（七絶）  
 2 ～ 4 新柳（七律三首）  
 5 ～ 6 祇園街（七絶二首）  
 7 春曉書事（七絶）  
 8 如雨亭小集。与石津子儉同賦得紫字（七絶）  
 9 ～ 13 浴鳧（七絶五首）  
 14 ～ 18 論詩（七絶五首）  
 19 東山酒樓看彼岸桜。此日春陰微雨（五律）  
 20 四月十五日、携家遊仁和寺。早桜已謝、而晚桜未開。步至上方、台殿古雅、竹樹幽邃、実寿永中、平経正奉還西山琵琶、訣別法親王処。俯仰感愴、追憶往昔、行吟低回、獲二十八字。出腰間墨斗、墨斗墨乾、不克作字。乃滴花間露、

淬筆題其門櫺（七絶）

21 3 三月二十七日、同黄石翁、成島詞兄、飲于東山明秀樓、  
尋琴水女史亦至焉。席上分韻（七絶二首）

23 5 明秀樓酒間、賦似琴水女史（七律三首）

26 春曉即事（五絶）

27 乳雀（五古）

28 賀鷗隣中田翁五十初度（七絶）

29 30 美人臨書函（七絶二首）

31 臨古帖（五律）

32 食新茄（七古）

33 34 四月二十五日、石子儉見訪、留而小酌。明日子儉有詩  
見贈。賦此答謝（七律二首）

35 丁丑四月念六日、花頂唵社詩會、以春雨訪友為題、限以七  
律。此日會者、船山、天江、双橋諸同人、併予都六人也。

晡時穀雨如油、葉欄落花將發、適甚（七律）

36 新緑（花頂唵社席上掲題）（七絶）

37 38 魚苗（七絶二首）

39 40 斷梅（七絶二首）

41 碧梧（七絶）

42 43 次韻家溪琴大人見贈、却寄（七絶二首）

44 45 八月一日、同諸友避暑于糺林水亭。此日輕雷小雨俄來、

既而呈晴（五律二首）

46 48 糺林雜詠（七絶三首）

49 新京極街途上（七絶）

50 秋夕思郷（七律）

51 小督墓（七絶）

52 56 東山食洋饌（七絶五首）

57 58 九月十六日、過高台寺、胡枝花正盛（七絶二首）

59 60 秋懷。次石子儉韻（七律二首）

61 敗荷（七律）

62 67 冬菜（七絶六首）

68 市原野懷古（七古）

69 寒鴉枯木図（五古）

70 漁家雪（七絶）

71 長樂寺（七絶）

72 73 誦孟嘗君伝（七絶二首）

74 祝大谷老法主還曆寿（五古）

75 詠風（七絶）

76 詠松寿、寿某大教正六帙（代人）（七絶）

77 寒冬即事（五絶）

78 六条帰途所見（七絶）

79 80 寒江釣魚図（大谷氏課題）（七絶二首）

81 82 歳市買梅（同上）（七絶二首）

83 84 雨夜雪意（七絶二首）

85 栽柳（七絶）

86 88 誦新橋佳話、寄贈秋風道人（七律三首）

89 92 寒月（大谷氏課題）（七絶四首）



【二十九】京華集（4・07/ケ/1貴）

①分量 二卷一冊

②書型 縦二二・二cm×横一三・九cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 一六丁

④外題 「京華集」（表紙左肩、子持杵書き題簽）、「京華集 一」

（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「京華集卷之一」「二」

⑥序跋 自序（元治元年）

⑦備考 元治元年、滞京中の作を集める。

⑧目次

※「自序」

●京華集卷之一

1 訪靄山山人溪山無尺樓于鴨厓、招竹外老人小酌。此日雪大起、適甚（七律）

2 〽 11 溪山無尺樓寄題十首（七絶）

12 箱根（七律）

13 知恩院（七絶）

14 又戲題一絶（七絶）

15 清水閣上觀風雪映山来（七絶）

16 訪劉石舟老人（七律）

17 清水慈雲閣（五律）

18 〽 19 北野菅廟二首（五律）

20 嵐山（七古）

21 四条橋（五律）

22 凹軌行（過大津駅有感。作凹軌行自勉）（五古）

23 〽 24 小倉山（在嵯峨野）（五絶二首）

25 祇園（七古）

26 金閣寺（七古）

27 〽 28 銀閣寺（閣在東山山陬）（七絶二首）

29 北山觀鹿園公茶寮。寮有南燭柱（五律）

30 盆栽小桜（七絶）

31 二月初四日、同渭川、洞海二老、訪香川某水莊。水莊在鴨

涯深林中、水木清華、幽邃可喜也（七律）

32 鴨東散步過紅蘭女史門外（七絶）

33 近日京城魚佃連城。戲賦呈王城公（七絶）

34 〽 35 詩仙堂（五律二首）

36 油菜花（七律）

37 〽 38 春雨鳴鳩（七絶二首）

39 如月十六日、特旨賜花糕及梁肉。恭賦長句、記其恩榮（七古）

40 本多中書戎裝提槍図（七絶）

41 花影（七律）

42 〽 43 備後三郎書桜樹図（七絶二首）

44 宮鶯囀曉光（七律）

●京華集卷之二

45 〽 46 詠清正公（賜題）（七律二首）

47 紫宸殿庭上、拝觀伶人奏舞樂。因賦蕪詞一章、記其恩榮。

一時甲子三月九日也（七絶）

48 〽 49 鯉魚図二首（七絶）

- 50 通天橋（七絶）  
 51 花後出城書所見（七律）  
 52 春晚次韻似新見存叁（七絶）  
 53 55 甲子春晚、伏見騎士横田生、拉余、漁于菟道川、獲鯉魚數頭。此日、煙雨濛、兩岸新樹、蒼翠如滴、四顧杳渺、人影稀少、殆忘躬之在羈旅中也。舟中得三絶句（七絶三首）  
 56 57 紫女湖樓修源語函二首（七絶）  
 58 新梧清昼（七絶）  
 59 楊妃教金經鸚鵡函（七絶）  
 60 若王子後園散策（五律）  
 61 牡丹（七絶）  
 62 賽方広寺觀其殘礎旧趾（七古）  
 63 五月八日、将発京畿、賦一絶、書寓齋壁（七絶）  
 64 傲舟下澗江（七律）  
 65 大坂（七律）

【三十】兼葭一枝（4・07／ケ／2貴）

- ①分量 一冊  
 ②書型 縦二・三cm×横一三・三cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）  
 ③丁数 七丁  
 ④外題 「菊池純稿／兼葭一枝 単」（表紙左肩、打付書）、「兼葭一枝 単」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）  
 ⑤内題等 内題「兼葭一枝卷之一」  
 ⑥序跋 なし  
 ⑦備考 大坂の名所を巡って詠じた詩を収める。詩にはそれぞれ自注を付し、各所の概況・所感を記す。内題「兼葭一枝卷」までは貼り紙、下には「浪江竹枝卷」とあり。
- ⑧目次
- 1 天保山（七絶）  
天保山 テンポウヤマ
  - 2 高津宮（七絶）  
高津宮 タカツミヤ
  - 3 浪華亭偃蓋松（七絶）  
浪華亭 ナニワラヤ
  - 4 住吉（七絶）
  - 5 天下茶屋（七絶）
  - 6 妙国寺鉄蕉樹（七絶）
  - 7 左海浦（七絶）
  - 8 9 旭亭（七絶二首）
  - 10 天王寺（七絶）
  - 11 茶白山（七絶）

【三十一】皇朝新擬樂府（4・07／コ／1貴）

12 怒雪（七古、柴田勝家）

①分量 一冊

②書型 縦二三・六cm×横一六・一cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 一四丁

④外題 「皇朝新擬樂府（菊池三溪稿本）」（表紙左肩、子持粹書き題簽）、「皇朝新擬樂府 完」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「皇朝新擬樂府」

⑥序跋 なし。ただし、二丁目は遊紙であるが、柱に「自序一」とあり。

⑦備考 詠史詩を掲げ、それに関わる史実を記す。

⑧目次

1 浄海頭（七古、平清盛）

2 飯粒墜（七古、平将門）

3 箆挿梅（七古、梶原景季）

4 傘工児（七古、平宗盛）

5 繰糸（七古、静御前）

6 十二史（七古、金剛山）

7 土窖（七絶、護良親王）

8 佩竹枝（七古、足利義輝）

9 本能寺（七古）

10 黄八幡（七古、北条綱成）

11 除夜雪（七古、武田晴信）

【三十二】香雲楼詩鈔（4・07／コ／2貴）

- ①分量 二卷二冊（原三卷三冊、地冊（卷二）欠）
- ②書型 縦二一・三cm×横一三・五cm、水色表紙、康熙綴じ
- ③丁数 天冊三〇丁、人二〇丁
- ④外題 「香雲楼詩鈔」□「人」（表紙左肩、単梓書き題簽）
- ⑤内題等 天冊内題「香雲楼詩鈔卷之二」、人冊内題「香雲楼詩鈔卷之三」
- ⑥序跋 友野霞舟序（嘉永元年十月）、斎藤南溟序（嘉永元年四月）、長戸土讓「香雲楼詩鈔序」（嘉永元年十二月）、遠藤鶯谷「香雲楼詩集序」（嘉永元年十月）
- ⑦備考 弘化二年（一八四五）春から弘化四年（一八四七）にかけての作を収める（ただし、天保十三年（一八四二）帰郷時の詩を含む）。

⑧目次

天冊

- ・「序」（友野霞舟）
- ・「序」（斎藤南溟）
- ・香雲楼詩鈔序（長戸土讓）
- ・香雲楼詩集序（遠藤鶯谷）
- 香雲楼詩鈔卷之一
- 1 梅花唸（五古）
- 2 楼上望紙鷲（七絶）
- 3 乙巳元旦（七律）
- 4 5 人日口号（七絶二首）
- 6 読大沼子寿天保樂府（七律）

- 7 春半郊行（七絶）
- 8 風梅（七絶）
- 9 春晚書懷（七律）
- 10 深川晚帰矚目（五律）
- 11 春雨種菊（七絶）
- 12 平蟹行（七古）
- 13 14 備後三郎題詩桜樹図（七絶二首）
- 15 春遊六言（六言八句）
- 16 題家蔵伊藤五子書幅（七古）
- 17 18 22 花鳥題画十二首（今録六首）（五古）
- 23 活東（七律）
- 24 觀化（七絶）
- 25 33 落花次文衡山韻（七律九首）
- 34 殿山晚帰（七律）
- 35 宝泉精舎所見（七絶）
- 36 二分春色到花朝（五律）
- 37 子日興（以下十首和歌題）（七絶）
- 38 海夕立（七絶）
- 39 浦千鳥（七絶）
- 40 秋曉（七絶）
- 41 草庵雨（七絶）
- 42 静姫（七絶）
- 43 待宵恋（七絶）
- 44 俄変恋（七絶）
- 45 眉（七絶）
- 46 足（七絶）

- 47 題画（五絶）  
 48 ∽ 49 納涼（七絶二首）  
 50 秋園即事（七絶）  
 51 窮鬼図（七古）  
 52 木犀雨（七律）  
 53 予讓刺衣図（七絶）  
 54 ∽ 58 晚秋念七日、遊十二社。途中謾吟五首（五律）  
 59 湖上寓目（五律）  
 60 ∽ 61 冬日雜詠（七絶二首）  
 62 初冬十二日、青山途上所見（七絶）  
 63 ∽ 64 鉄砲洲觀狼煙技（原六首）（七絶二首）  
 65 江村避暑（五律）  
 66 秋晴出遊（七絶）  
 67 荷珠（七律）  
 68 題南極老人図（五絶）  
 69 ∽ 70 蟬蛻（七律二首）  
 71 憎蚊（集詩経語）（五古）  
 72 秋夜宿山寺（七絶）  
 73 送長尺蠖之南紀（七絶）  
 74 初夏幽居（七律）  
 75 老鷗（七律）  
 76 小松川途上（七絶）  
 77 小金原（七律）  
 78 雪中柳（七律）  
 79 古川村途上（七律）  
 80 和州道中侍輿（七律）

- 81 登高峰臨眺和河撰紀泉諸州（五古）  
 82 勢州道中。願望高峰（七律）  
 83 南紀寓舍雜興（七絶）  
 84 ∽ 89 余以壬寅抵南紀。与客遊高松、帰途遇雨、有記。又得六絶句。仍使弟敏造図、以題其後（七絶）  
 90 ∽ 92 霜天晚興（七絶三首）  
 93 ∽ 94 雪中雜詩（七絶二首）  
 95 蘆花被（七律）  
 96 門外追涼（七絶）  
 97 虫語（七古）  
 98 村居秋霖（七絶）  
 99 夏日小占（七絶）  
 100 梅村踏月（七絶）  
 101 ∽ 124 猴稚坊竹枝（七絶二十四首）  
 125 寒夜讀書（五古）  
 126 冬日閑居（七律）  
 ・「評」（長戸士讓、関根成美）  
 （地冊・卷二欠）
- 香雲樓詩鈔卷之三
- 127 ∽ 128 度花鐘声（丁未）（七絶二首）  
 129 ∽ 131 開春与諸子同遊江東（七律三首）  
 132 西郊觀梅。寄似牧子徹（五律）  
 133 ∽ 137 読算作玉海坤輿図識（五古五首）  
 138 ∽ 149 丁未鷄日、偶説張山來花鳥春秋。愛其文才雅潔、乃援得十二絶句（七絶）

- 150 水中梅影（七絕二首）  
 152 月夜踏花影。擬韓偓体（七律）  
 153 夏昼（七律三首）  
 156 前鳥鬼行（七古）  
 157 後鳥鬼行（七古）  
 158 哭岡本生（七絕二首）  
 160 花後遊殿山（七絕三首）  
 163 夏雲奇峰多（五古）  
 164 野渡送別圖（七絕）  
 165 梅雨得晴（七絕二首）  
 167 洗竹（七絕）  
 168 山水小景（五絕）  
 169 同牧子徹遊溜池（七律）  
 170 聞蛙（七律）  
 171 不忍池上寓目（七絕）  
 172 夏山雨意圖（七絕）  
 173 溪山雨晴圖（七絕）  
 174 春晚寓居漫成（七律三首）  
 177 次韻友人見贈（五律）  
 178 觀挿秧（七律）  
 179 夏村居（七律二首）  
 181 夏夜偶成（七絕）  
 182 夜觀星象賦長句（七古）  
 183 利休煎茶圖（七絕）  
 184 秋夜誦山陽遺稿題其後三首（七律）  
 187 觀大高原吾与其角山人書牘引。賦贈霞舟翁。翁出督甲学之

- 時、獲之其郷士某（七古）  
 188 画蘭（七絕）  
 189 中秋既望。賦似家溪琴（七絕）  
 190 秋尽書懷三首（七律）  
 193 初冬与友人同飯茜坂水樓（七律二首）  
 195 春日寄懷（七律八首）  
 203 冬夜校南溟先生詩文稿書其後（七律二首）  
 205 初冬念二日、訪礪醒梁。席間閱菅茶山集、有題第五隆那智瀑布圖之詩。曰、要知飛流千尺壯、好就梅花書屋看。醒梁曰、此句非余不能知其妙也。因語往昔介石山人造瀑布圖、祖考西阜先生題詩其上、以贈故滄洲先生之事。今皆散出失所在。純愴然不能無感。席上走筆、用茶山翁韻、記其實（七古）  
 206 香奩体（七絕）  
 207 言志（七絕）  
 208 丁未歲晚、次韻醒梁先輩誦南溟詩集作（七律二首）  
 210 臘月十七日、訪乙骨菊圃、歸途過両国橋（七絕）  
 211 臘月十九日、風雪。訪醒梁梅花書屋、席上會閱春草堂詩集。因用其歲晚書懷之韻、同賦（七律二首）  
 213 晋文公載塊圖（七絕）  
 214 首陽採薇圖（七絕）  
 215 牛糞風雪伴母圖（七絕）  
 216 磐溪大槻文学、頃日刻其寧靜閣詩集。已成、辱見惠一本。因賦長句、答謝、兼似家溪琴老兄、遥懷浪華旭莊先輩。頃溪琴、旭莊二宗、亦將刻其集、故憇之（七古）  
 217 寒夜枕上即事（七絕）

218 霜曉（七絶三首）

221 冬日見梅。贈山梅塙翁（七絶）

222 梅花。用甌北詩韻（七律）

223 詠旧古跡十首（七律四首、七古五首、七絶一首）

・〔評〕（長戸士讓、大槻磐溪）

【三十三】高倉山房集・精細集（4・07／コ／3貴）

①分量 一冊

②書型 縦二二・八cm×横一三・七cm、水色表紙、四つ目綴じ

③丁数 二〇丁

④外題 「高倉山房集 卷二／精細集 全」（表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題（一）「高倉山房集卷二（起己丑一月／尽其六月）」、内題（二）「精細集（起己丑七月／尽其十二月）」

⑥序跋 自序

⑦備考 表紙右下隅に「己丑」と朱書。明治二十二年の詩集。

⑧目次

●高倉山房集卷二（起己丑一月／尽其六月）

※〔自序〕

1 己丑元旦自述（五絶）

2 3 聞鴨東花事盛、賦此似人（七律二首）

4 読寛政三博士文集（七絶）

5 6 読古文有感（七絶二首）

7 観草木發生（七絶）

8 欄角（七絶）

9 沐猴舞踏囃（七絶）

10 遷上嬉春図（七絶）

11 詠梅（七絶）

12 苦寒（七律）

13 14 詠史（七絶二首）

15 春寒（七絶）

16 春夜（七絶）

17 〽 18 齋體二首（七絶）

19 花朝口号（七律）

20 〽 22 琵琶湖疎水竣工祝宴。予亦与焉、喜而賦（七絶三首）

23 暮村（五律）

24 〽 25 藤房諫龍馬図（七絶二首）

26 〽 30 詠史（七絶五首）

31 〽 32 春曉（七絶二首）

33 折枝桃花図（七絶）

34 〽 35 伏水桃山懷古（七絶二首）

36 〽 37 白桃花二首（七律）

38 周郎（七絶）

39 〽 40 書前後赤壁賦後（七絶二首）

41 新月（七絶）

42 船山草場翁紀念碑刻成、建之洛東禪林寺勸学院前。今茲四

月廿日、門人、故旧胥議、行建碑儀。予亦与焉、有感、成

長句四韻（七律）

43 盆池（五律）

44 五月二日、淫雨放晴、園中散步、書事（七律）

45 〽 46 菜市（七絶二首）

47 〽 51 題女鬼図五首（七絶）

52 〽 55 落花四首（七律）

56 綺羅（五絶）

57 〽 58 望筑楼図。為齋藤生（七絶二首）

59 春尽書懷（七律）

60 煙青（七絶）

61 蘋末（七絶）

62 梅花近（七律）

63 予、戊子夏、西游泊飛鸞台、望五龍山、有感弘安元寇事。

慨然作長句（七古）

64 灌盆卉（七絶）

65 新涼夜坐（七律）

66 新鷗（七絶）

67 芳山踏雪図（七絶）

● 精細集（起己丑七月／尽其十二月）

※「百序」

68 〽 69 断梅前一日作（七律二首）

70 白桜樹題詩図（七絶）

71 茅屋為風雨被破。賦一絶句（七絶）

72 〽 73 秋立後暑甚。山房書事（七絶二首）

74 〽 80 消暑雜詠（七律七首）

81 〽 82 天神橋納涼。此日游船如織、熱尤甚（七絶二首）

83 納涼（七絶）

84 蓮花絶句（七絶）

85 〽 89 秋晚書懷（七律五首）

90 赤日（七絶）

91 秋分日赴某詩会（五律）

92 八月四日、寓榻小酌賞月、有感（七律）

93 秋深（五律）

94 訣兒松歌。過桜井駅趾、有感、作長句（七古）

95 秋陰書事（七律）

96 祇王（七絶）

97 晚禾（七律）



- 98 廃寺（七律）  
 99 夜坐（七絶）  
 100 題画（七絶）  
 101～102 題歳寒双清図。山尾生嘯（七古二首）  
 103 老松図（七絶）  
 104～105 題湖楼壁（七律二首）  
 106 春首寒甚（七律）  
 107 題画狗（七絶）  
 108 山村冬暮雜詠（七絶）  
 109 常盤雪行図（七絶）  
 110 田家除夕（七律）  
 111 十二月二十五日、大雲精舎忘年会招飲。予有事、故不赴。  
 賦此詠諸同人（七律）

【三十四】辛亥存稿（4 / 07 / シ / 1 貴）

- ①分量 二卷一冊  
 ②書型 縦二三・七cm×横一五・九cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）  
 ③丁数 二四丁  
 ④外題 「辛亥存稿二卷（菊池三溪稿本）」（表紙左肩、子持粹書き題簽）、「辛亥詩存（古今体通計 二十首／九十二首）」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）  
 ⑤内題等 内題「辛亥存稿二」  
 ⑥序跋 なし  
 ⑦備考 嘉永四年（一八五二）の詩集。  
 ⑧目次
- 辛亥存稿
- 1 辛亥元旦（五律）
  - 2 書海莊山人説詩十三首後（七律）
  - 3 薩摩守忠度過滋賀荒墟図（七古）
  - 4 題画（七絶）
  - 5～12 詠環海異聞八首（七絶）
  - 13 紫式部古硯図引（七古）
  - 14 春曉聞鐘（七絶）
  - 15 春夜（七絶）
  - 16 青郊帰牧（七絶）
  - 17 忠盛捉鬼図（七古）
  - 18 笑（七律）

19 淚 (七律)

20 髮 (七古)

21 誦鄭大木伝 (七古)

22 赤壁図。偶誦方孝孺贊、用其意 (七絶)

23 誦板倉氏伝 (七律)

24 誦木村重成伝 (七律)

25 粧閣行 (七古)

26 春日偶感。寄冷雲道人 (七絶)

27 齋藤竹堂過訪。賦际 (七律)

28 ~ 29 諸葛武侯像贊 (七絶二首)

30 ~ 34 春晚、連日霖雨、無聊。偶得足疾、經旬、不瘳。因以  
唵哦排悶、得五首。此日、殘花新緑、適甚 (七律五首)

35 山本子憲所過。寄眎其嘗所輯事實文編 (七律)

36 灑上所見 (七絶)

37 薩摩守忠度与藤黄門俊成叙別図 (七古)

38 ~ 39 災後書事 (七絶二首)

40 ~ 47 告天子八首 (五絶)

48 賜春衣歌 (七古)

●辛亥存稿二

49 苦唵十韻 (七古)

50 木硯行 (一日桜精行) (七古)

51 ~ 60 誦野史 (七絶十首)

61 立石生、被惠園中棗子。賦此謝 (七律)

62 外祖父鷺湖翁三周忌日。賦此眎諸同人 (七律)

63 僧西行詠秋図 (七絶)

64 美人彈箏図 (七絶)

65 ~ 66 王子村途上 (七絶二首)

67 ~ 69 秋村小景 (七絶三首)

70 冬景 (七絶)

71 ~ 72 題画二首 (五絶)

73 瓶中二色菊花 (七絶)

74 ~ 75 初冬夜坐 (五律二首)

76 ~ 77 詠梅花 (七絶二首)

78 千樹原所見 (七絶)

79 嘲医生 (七律)

80 扇面小景 (五絶)

81 江都図 (七律)

82 江樓曉望 (七絶)

83 ~ 85 辛亥臘月、西阜先生所著三山記略剞劂竣工。賦以呈家  
君 (七絶三首)

86 臘尾作 (七絶)

87 ~ 92 誦稗史 (七古六首)

【三十五】重簾淺夢余稿（4・07／シ／2貴）

- ①分量 一卷一冊
- ②書型 縦二二・五cm×横一五・三cm、水色表紙、四つ目綴じ
- ③丁数 一〇丁
- ④外題 「重簾淺夢余稿」（表紙左肩、打付書）
- ⑤内題等 内題「重簾淺夢余稿（起丙戌二月／畢其十二月）」
- ⑥序跋 自序
- ⑦備考 明治十九年の詩集。
- ⑧目次

※「自序」

- 1 春寒（七絶）
- 2 3 菜花二首（七律）
- 4 清明書事（七律）
- 5 高青邱（七絶）
- 6 常盤（七絶）
- 7 韓信（七絶）
- 8 項羽（七絶）
- 9 四月十日偶作（五律）
- 10 司馬牛（七絶）
- 11 分牽牛苗（七絶）
- 12 一月四日、次韻石津子俛見贈、却寄（七律）
- 13 三月十日、錦谷相良君招飲。用主人詩韻、送其赴任于鹿兒島（七律）
- 14 桃（五絶）
- 15 柿（五絶）

- 16 穀雨（七絶）
- 17 18 夏初郊行所見（七絶二首）
- 19 読唐順宗紀（七絶）
- 20 范蠡泛湖図（七絶）
- 21 22 蝸笛二首（七律）
- 23 26 読義経再興記（七絶四首）
- 27 買盆栽（七絶）
- 28 32 秋夏交、小園牽牛花盛開（七絶五首）
- 33 浴余書事（七絶）
- 34 榜声（好文社課題）（七律）
- 35 万寿盃歌。孟藤田東湖翁遺物、蓋祝石川桃溪米寿之物。賦  
応素心子需（七古）
- 36 梧桐疎雨（七絶）
- 37 天灯（七律）
- 38 39 浪華雜詠二首（七絶）
- 40 秋芳（七絶）
- 41 秋尽（七絶）
- 42 夜市（七絶）
- 43 44 白菊（興文社課題）（七律二首）
- 45 月下美人図（谷嚶齋囑）（七絶）
- 46 47 花月雜詠詞（七絶二首）
- 48 雪竹図（五絶）

【三十六】酒痕灯影詩（4・07／シ／3貴）

①分量 一冊

②書型 縦二三・四cm×横一六・一cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 九丁

④外題 「酒痕灯影詩（菊池三溪手批）」（表紙左肩、子持杵書き題簽）、「酒痕灯影詩」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「酒痕灯影詩」

⑥序跋 自序「自題酒痕灯影詩」（明治四年十月）

⑦備考 明治四年秋、南総・東京に遊んだ際の自身の詩と師友唱和の詩を収める。当時三溪は土浦在住。

⑧目次

※自題酒痕灯影詩

1～2 禹宿道中二首（七絶）

3 飲馬湖（七絶）

4 成田山（七律）

5 佐倉（七律）

6 訪依田百川、和其東京留別詩韻、寄贈（七律）

7 信宿田中土忠従吾軒（七絶）

8 宿登戸狎鷗亭（五絶）

9～10 木更津途上（七絶二首）

11 似狎鷗亭主人（五律）

12 佐倉客舎、談及義民宗吾事、慨然作歌（七古）

13 訪磐溪先生禹石原齋居（以下東京寓中作）（七律）

14 又賦一絶句呈（七絶）

・三溪子見訪時、余七十一、三溪五十四。因次韻以述其意（七絶、大槻磐溪）

・「次大沼枕山墨水春嬉詩韻」（七律、大槻磐溪）

15～16 和磐溪先生墨水春嬉詩韻二首（七律）

17 酒後陪先生訪成島柳北途上作（七絶）

・再用前韻（七絶、大槻磐溪）

・辛未九月念七日、磐溪先生、三溪詞兄見訪。席上次見似韻（七絶、成島柳北）

18 成島君席上、再次前韻（七絶）

・再用前韻、似二君（七絶、成島柳北）

19～20 九月念八、柳北詞兄邀予飲一洲橋水樓。枕山先輩尋至。

醉後援筆、似二詞宗（七律二首）

21～23 柳橋新誌二編題詞（七律三首）

24～25 輓塩田松園老人（七律二首）

・留別東京諸友（依田学海、七律）

・三溪先生及四君過訪、喜有作（田中士忠、五律）

【三十七】小西湖雜詠（4・07／シ／4貴）

①分量 一冊

②書型 縦一九・八cm×横一二・九cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 一〇丁

④外題 「小西湖雜詠（菊池三溪稿本）単」（表紙左肩、子持枠書き題簽）、「小西湖雜詠 単」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「小西湖雜詠」

⑥序跋 冒頭一丁目に自序を記すも抹消。

⑦備考 不忍池（小西湖）周辺を詠じた詩。各所の景況を記した自注を付す。抹消された自序には「近日予屏居于谷莊」とあり。『学聚堂遺稿』（4・05／カ／3貴）所収「松園塩田先生墓表」には「乙丑、余以病致仕、屏居于城北谷中村」とあることから、「乙丑」すなわち慶応元年頃の作かと思われる。

⑧目次

※自序（抹消）

1 狐王廟（七絶）

2 六弥陀（七絶）

3 ～ 4 両大師（七絶二首）

5 白山（七絶）

6 妾寡居（七絶）

7 ～ 8 堤上花卉（七絶二首）

9 ～ 10 魔利支天（七絶二首）

11 麦湯（七絶）

12 開口捕魚（七絶）

13 ～ 14 根津権現（七絶二首）

15 天女祠（七絶）

16 投菓亀魚（七絶）

17 松源蓬萊（七絶）

18 清凌（七絶）

19 歌妓姉妹（七絶）

20 歌妓薄命（七絶）

21 ～ 22 晚秋（七絶二首）

23 湯島（七絶）

24 ～ 25 臘末寒互（七絶二首）

26 快快亭（七絶）

【三十八】紫藤架下小池頭喰草・小西征詩・四年五回移居集（4  
07／シ／5貴）

①分量 一冊

②書型 縦二二・六cm×横一五・六cm、縹色布目表紙、四つ目綴じ

③丁数 二〇丁

④外題「紫藤架下小池頭喰草／小西征詩／四年五回移居集」（表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題（一）「紫藤架下小池頭喰草（乙亥）」、内題（二）「小西征詩」、内題（三）「四年五回移居集（乙亥十月／已後小稿）」

⑥序跋 三集それぞれに自叙あり。「紫藤架下小池頭喰草」の序は明治八年二月八日付。

⑦備考 表紙右下隅に「四」と朱書。「紫藤架下小池頭喰草」は、御池巷居住の時期、明治八年春から十月までの詩を収める。「小西征詩」は明治八年十月、大阪・神戸

・奈良に旅した折の詩を収める。「四年五回移居集」は明治八年十月六条枳殻馬場転居後の詩を収める。

⑧目次

●紫藤架下小池頭喰草（乙亥）

※「自序」

1～2 鴨東早春（七律二首）

3 小島高德題詩図（七絶）

4 蛭吻行（一曰魚虎行）（七古）

5 後蛭吻行（七古）

6 一月十八夜、夜半酒醒、月色奇明、觀樹影上窓、皆作奇鬼猛獸狀。援筆写其所見（七古）

7 牧牛図（七絶）

8 雪日、独酌鴨西旗亭、隣樓有按歌曲者。其声凄婉、自然動人。酒後題一絶句于壁間（七絶）

9 小窓梅影（七絶）

10～11 春雨鳴鳩（七絶二首）

12 二月六日、赴大賀旭川招宴、此日風雪（七絶）

13～14 与友話別（七絶二首）

15 桃花游魚図（印須課題）（七絶）

16 春山晴遠図（梅亭女史囑）（五絶）

17～18 時様（七絶二首）

19～20 用広瀬青村留別詩韻却寄（七律二首）

21～22 磐溪大槻翁西游。余与諸子同邀翁、飲于鴨西竹葉亭。坐有蓬生女史（七律二首）

23 席上賦似諸同人（七絶）

24～25 六月十一日、東本願寺諸子、邀飲磐溪翁及都下諸名流于東山第一樓。酒間有詩。索和諸子（七律二首）

26 磐溪先輩詩先成。席上和其韻（七絶）

27～28 夏意（五律二首）

29 平相国（七絶）

30～32 觀都踊（七絶三首）

33 餞送大槻磐溪翁歸東京、与知恩大教正松影尊者同賦（七律）

34～35 記園中草木。做坡公体（五古二首）

36 暮渡鴨川（七絶）

37 快雨（五絶）

38 夜市買虫（七絶）

39 雖設（七律）

40 中秋無月（七絶）

41 觀勸業場図（七絶）

● 小西征詩

※〔自序〕

42 駕汽車抵神戸。車中叙所見、作汽車行（七古）

43 神戸（七律）

44 過須磨浦、有語村雨松風之故事者。悵然有此作（七絶）

45 舞妓浜（五絶）

46 須磨寺瞻敦盛遺像、觀其所愛横笛（七古）

47 湊川楠公墓下作（五古）

48 ～ 49 宿明石謁人丸祠（七絶二首）

50 須磨途上（七律）

51 過一谷、有感源平興亡事。慨然作歌（七古）

52 過平敦盛墓下、追懷武州知章殉節之事（七絶）

53 河内途上（七絶）

54 ～ 55 春日祠外、見麋鹿作群、戲作詠鹿詩（七律二首）

56 二月堂（七絶）

57 三笠山（七絶）

58 和州道中（七絶）

59 東大寺瞻盧舍那仏作歌（七古）

● 四年五回移居集（乙亥十月／已後小稿）

※〔自序〕

60 十月三日、同双橋、百年、游西大谷、看残荷于池上。分坡

公句、得荷字（七律）

61 ～ 62 舍北揺落景殊佳（五律二首）

63 ～ 64 十月念六日、游金闕寺（七絶一首）

65 寒灯課子（七絶）

66 高瀬川（六言八句）

67 残照（五律）

68 ～ 69 楠公訣子図（七絶二首）

70 琴水女史詩稿題詞（七律）

71 常盤雪行図（七絶）

72 古仏（七律）

73 歳抄書懷（七律）

74 乙亥除夕（七絶）

【三十九】晴雪樓余稿（4・07／セ／1貴）

①分量 一巻一冊

②書型 縦二三・八cm×横一五・九cm、黄土色布目表紙、四つ目綴じ

③丁数 二三丁

④外題 「晴雪樓餘稿 乾」（表紙左肩、子持梓書き題簽）

⑤内題等 内題「晴雪樓餘稿卷之一」

⑥序跋 菊池梅軒「題辭」（安政六年二月）

⑦備考 嘉永四年から安政元年にかけての詩を収める。浄書稿。

梅軒「題辭」は本文とは異なる料紙に清書したものを  
匡郭に沿って切り取り、白紙に貼り付けた状態で、綴  
じられている。

⑧目次

・題辭（菊池梅軒）

1 辛亥元旦（自辛亥至甲寅）（五律）

2 題画（七絶）

3 春夜（七絶）

4 青郊歸牧（七絶）

5 忠盛捉鬼図（七古）

6 笑（七律）

7 涙（七律）

8 髪（七古）

9 読板倉氏伝（七律）

10 読木村重成伝（七律）

11 粧閣行（七古）

12 災後書事（七絶）

13 苦唸十韻（七古）

14 江都図（七律）

15 湯島酒樓眺寛永寺花（以下壬子稿）（七絶）

16 読海莊山人鴨東諸作。綺麗芊綿、情景兼到、使人魂飛肉消。

不堪擊節。乃用其韻得長句（七律）

17 題鴨東雜詠詩卷後（七律）

18 春林欲雨（七絶）

19 太田道灌借蓑衣図（七絶）

20 春晚微疴、徹夜不得就眠。枕上謾唸（七律）

21 ～ 22 築地廨舍雜唸（七律二首）

23 聞醒梁学士命教導職、喜賦（七律）

24 ～ 25 秋園蚤起見牽牛花（七律二首）

26 築地公園所囑（七律）

27 桂花絶句（七絶）

28 西山公（七律）

29 広尾途上（七絶）

30 新涼読書（七絶）

31 人影（七律）

32 書孟子約解後、呈磐溪翁（七律）

33 駐春亭（七律）

34 酒旗（七律）

35 美人晏起図。応教（七律）

36 劉青田（七律）

37 夏意（七絶）

38 滑川撈銭図（七絶）



- 39 梅雨遇晴（五律）  
40 清氏攀簾図（七古）  
41 晚過不忍池上（七絶）  
42 訪秋元氏吞舟窟（七律）  
43 晚夏雜唸（七律）  
44 七月既望、携関磐邸、松万坪二弟、遊十二叢（七律）  
45 晚秋初五、与海莊翁遊川楼。翁詩先成、次其韻（七律）  
46 湘簾（七律）  
47 漢宮嬉春図。海莊老人囑（七古）  
48 龍蝦図（七絶）  
49 梅間弹琴。為古岳上人（七律）  
50 哭家貞斎。寄海莊翁（七古）  
51 万里小路藤房（七絶）  
52 中元賞月（七律）  
53 春晚謾唸（七律）  
54 明智左馬介騎渡湖水図（七古）  
55 東台春嬉（七律）  
56 花後出城（七絶）  
57 六月十三夕月下作（七絶）  
58 秋夜読書（此夜当十五夜）（七絶）  
59 僧西行詠秋図（七絶）  
60 詠梅花（七絶）  
61 告天子（原八首）（五絶）  
62 江楼眺望（七絶）  
63 〓 65 辛亥臘月、西臯先生所著三山記略剞劂竣工。賦以呈家君（七絶三首）  
66 四月廿三日、賽慈雲大師（以下癸丑稿）（七絶）  
67 書中乾胡蝶（七律）  
68 晚春十一日、奉送家君之南紀（七絶）  
69 夏意（七絶）  
70 〓 71 梅雨書事（七律二首）  
72 丈山先生像贊（七律）  
73 春山読書図（七絶）  
74 夜涼（七律）  
75 雨後所見（七絶）  
76 七月十三日作（五律）  
77 記時事（七律）  
78 中元夜觀踏歌（七絶）  
79 春宮詞（七絶）  
80 〓 81 晚過溜池所見（七絶二首）  
82 春晚雨日（以下甲寅）（七律）  
83 春郊夜掃（七絶）  
84 景季箴梅花図（七絶）  
85 祠前石灯（七律）  
86 暑雨後坐月（七絶）  
87 〓 88 荷錢二首（七律）  
89 消夏雜唸（七律）  
90 〓 91 訪柳某今戸水莊（七律二首）  
92 雨夜雪意（五絶）  
93 諸葛武侯図（七律）  
94 冬夜（七絶）  
95 夏意（七絶）

96 源二位（七絶）

97 初冬閑適（七絶）

〔付記〕調査に当たっては、京都大学附属図書館特殊資料掛の方々に大変お世話になった。心より感謝申し上げる。

また、本稿作成については、中村健史氏に多大のご助力をいただいた。記して謝意を表す。

（ふくい たつひこ・立命館大学文学部講師）